



生徒と先生の実顔をご覧ください

10月25日に行われた「学校訪問」の朝のあいさつで、香川県教育委員会西部教育事務所や三豊市教育委員会の方々に対して、校長として自信を持って発した言葉です。そして、その言葉どおり、参観したどの授業においても、先生と生徒が一体となって共に学んでいる姿がうかがえました。すべての授業を見て回ったために、ほんの少ししか見ることはできませんでしたが、先生方の授業の一部を紹介します。

嶋田先生は、生徒の質問に一つ一つ丁寧に答えながら、二等辺三角形の2つの底角が等しいことを証明していました。川原先生は、絵カードを上手に使いながら、四字熟語の意味を丁寧に教えていました。横田知美先生は、英語の対話表現を定着させるために、山手線ゲームで楽しく授業をスタートしました。丸岡先生は、涙の意味についてじっくりと考える道徳の授業で、最後は自分たちの生活に置き換えて考えました。藤川先生は、外部講師を招き、「あなたはカード派？現金派」と題して、カード問題などの消費者問題について考える社会の授業でした【写真①】。横田那奈子先生は、長方形をたくさん書かせ、縦と横の長さの関係から反比例の特徴について考える授業でした。材木先生は、バスケットボールの授業で、2年生女子の元気ハツラツなプレーが印象的に残りました。矢野先生は、使い捨てカイロの成分の変化から熱エネルギーが発生することに気付かせる実験を行っていました【写真②】。南先生は、合唱コンクールに向けて表現を工夫する授業で、3年生の迫力ある声に圧倒されました。高井先生は、三角水槽に水を入れると深さがどのように変化するかを見る実験から関数の特徴をまとめました。詫間先生は、いろいろな資料をもとにして、香川県にため池が多い理由を考えさせる授業でした。岩崎先生は、雨のため体育館で柔らかいボールを使ってのソフトボールの試合となりましたが、みんなとても楽しそうでした。高木先生は、授業最初に5問テストをして学力の定着を図っていましたが、ほとんどの生徒が元気よく発表する姿に驚きました。綾先生は、薬物に関する保健の授業で、薬物から連想するものを発表させた後、プレゼンを使ってわかりやすく説明されていました。荻田先生は、職場体験の事前学習として、グループに分かれて模擬体験をすることを通して、聞くことの大切さを教えていました。香川先生は、数学の証明のしくみについて考える授業でしたが、難しい問題にも生徒たちは真剣に取り組んでいました。竹本先生は、コンピュータのシミュレーションを使ってTシャツの柄を考える美術の授業でした。高橋先生は、男女一緒のバドミントンの授業で、ペアで協力してダブルゲームに挑戦する授業でした。大川先生は、カルメ焼きの作り方の復習をした後、炭酸水素ナトリウムの変化を調べる実験を行っていました。近井先生と大矢先生は、食事調査の結果を基に食生活の問題点と改善点を考える授業を2人で行いました【写真③】。横田義崇先生は、「ウソ」という詩の最後の空欄に入る言葉をみんなで考えるおもしろい授業でした。中野真由美先生は、英語での電話のやりとりを実際に体験させる授業でしたが、生徒たちは恥ずかしがらずに堂々と演じていました。



写真①



写真②



写真③

指導・講評では、「子どもたちみんなが先生の方を向いとるなあ」（三豊市教育委員会 高木教育委員長）、「昨年もよかったが、それからまた1年で子どもたちがよく育っている」（三豊市教育委員会 臼杵教育長）、「校長先生の挨拶は、学校が安定していることを表しており、心強く感じた」（西部教育事務所 三野所長）など、いい評価をいただきました。また、「くつのかかとを折っている生徒がほとんどいなかった」「横断歩道を自転車を押してわたりたり、一列で登校したりする風景を見て感心した」など、授業以外でもたくさんのおほめの言葉をいただきました。改めて詫間中学校のすばらしさを実感した一日でした。

体育祭の感想 ～ 3年生編～

※紙面の関係で一部しか紹介できませんでした。

- ◇毎年「詫中ソーラン」にはとても感動させられますが、今年は特別なものがありました。先生と子どもたちが一体となり、この詫中ソーランを絶対成功させてみせるんだという気持ちが伝わってきました。みんなの気持ちが一つになり、同じ目標に向かって頑張ってきたことによって、子どもたちは達成感・充実感、喜びを得ることができたのではないかと思います。成功した後の子どもたちの笑顔は満足げであり、自信に満ちあふれたようないい笑顔をしていました。本当に感動しました。
- ◇中学最後の運動会ということもあって、張り切って早朝練習に出かけていく姿を見送っていました。3年生全員が踊った「詫中ソーラン」は、見ていて胸が熱くなりました。踊り終わった子どもたちの達成感あふれる笑顔がとても印象に残りました。
- ◇「オーシャンボーイ」は、私が見た過去5年の演技の中で一番よかったです。曲ともマッチしていたし、みんなが頑張っていました。3年生の詫中ソーランも、とてもよかったです。娘はセンターをとるために毎日PCの前で練習していましたが、センターにはなれなかったとガッカリしていました。頑張る娘をどうしても一番前でビデオにおさめたくて、図々しく来賓席の横でカメラを構えていました。そしてラストの決めポーズのところで、娘は誇らしげにど真ん中で最高の笑顔を見せていました。決して目立たないけど、人一倍努力した娘にいただいた先生からのプレゼントだと、ありがたく思いました。先生方本当にありがとうございました。
- ◇学級対抗リレーや部活リレー、選抜リレーなど、リレー競技は、学年、クラス関係なく、とても楽しめます。PTA参加の競技は、親子で一緒にできるものだったらよかったのになあとと思います。最後の3年生の踊りは最高でした！
- ◇一人一人が一生懸命で、何より楽しんでいるところがとてもよかったです。先生方と生徒たちがひとつになり、頑張っている姿に感動しました。思い出に残る体育祭をありがとうございました。
- ◇中学生生活最後の体育祭だけに、子どもたちの熱い思いが伝わってくるような詫中ソーランでした。みんなの気持ちがひとつになり、とても感動的で涙が出そうでした。また、組立体操は、曲と動きが合っていて、今までにないくらいすばらしくカッコよかったです。
- ◇組立体操は、特に会場から驚きの声上がるほどすばらしかった。すばらしい集中力でした。総舞黎の一人一人がいきいきと舞う姿は見る者に感動を与え、それぞれの成長を喜びつつ、楽しませてもらいました。
- ◇どの競技もみんな精一杯頑張る姿が見れてよかったです。先生方も時間のない中の練習、お疲れさまでした。リレーはすごかったです。ドラゴンリレーも楽しませていただきました。兄ちゃんの詫中ソーランも感動しましたが、今年も感動しました。最高です。暑い中、ご指導くださった先生方のおかげです。
- ◇全体的に子どもたちが一生懸命にしている姿がとてもよかったです。演技だけでなく、応援している態度とか・・・。詫中ソーランは、やはり感動しました。筋肉痛になりながらも踊っている姿やみんなの表情を見て涙が出そうになりました。
- ◇毎年、みんなのカー杯の演技・競技、気持ちがいいですね。先生方もリレーお疲れさまでした。(特に校長先生)。子どもたちも先生方の真剣さや弱さなどがわかり、楽しみが今以上に増したのではないのでしょうか。楽しい一日をありがとうございました。
- ◇雨天で延期になったおかげで、涼しい体育祭でした。中学校生活最後の体育祭。「詫中ソーラン」を一番楽しみにしていました。これまで何度か見に来ましたが、今年の舞は、みんな楽しんで演技しているのが感じられました。とても迫力があり、堂々と踊っていたので、どの子も輝いて見えました。本当にすばらしい最高の体育祭でした。
- ◇全員リレーは、クラス一人一人が頑張っている姿が見れてすごく感動します。選抜リレーと詫中ソーランは本当によかったし、よく頑張ったと思います。最後の体育祭、いい思い出になりました。校長先生のリレーも思い出です。
- ◇練習ではあまりたくさん跳べないと聞いていた縄跳びも、みんなが協力して、声を出し合っていたのに感動しました。風が強いというのを考慮してテントにおもりをつけていたりの工夫はさすがだと思いました。中学生生活最後の体育祭で、たくさんの思い出ができて本当によかったです。
- ◇今年は猛烈な酷暑の中で、朝早くからの練習も頑張って、学校から帰るともうヘロヘロという感じで、本当に大変だったと思います。でも、頑張った甲斐もあって、どの学年の演技も迫力があり、カッコよかったです。先生方の活躍ぶりも楽しませていただきました。
- ◇最高の体育祭でした。最後の「詫中ソーラン」は、本当に感動しました。我が子の姿に惚れ惚れしたほどです。全員リレーは「全員」ということに意義があると思いますが、男子と女子に分けて走った方が大差がつかなくて接戦になっておもしろいのではないかと思います。